

# 愛ちゃん ゆく! 第3話 「議員」から「おかあさん」 — 県議体験記 —

わが家には子どもが3人います。長男は6年生、長女は2年生。絵を描くのが好きで、2人とも「将来の夢は絵描き」だそうです。もうすぐ3歳になる次女はブランコ大好き。おサルのように元気で、まだ1歳のときから立ち乗りをしていました。

夕方家に帰り、玄関で「おかえり〜」と子どもたちが抱っこしてきたり、服を着替えて晩ごはんの支度をする時間は、「議員」から「おかあさん」に切り替わる時間。料理や子ども達に意識を向けられる普通の時間があることが、心のバ



息子(左)と娘(右)が描いた絵

ランスや元気にとって大事だと感じます。9か月経ち、議員の360度に忙しい日々にも慣れてきましたが、日々広がる世界を楽しみ頑張っていると思います。



おおつかあいプロフィール  
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。

## 大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員  
大塚愛 県政レポート [第3号]  
発行: 2017年8月(2017年6月議会報告)  
最新情報を発信しています  
Facebook:  
・みどり岡山  
www.facebook.com/greenokayama  
・大塚愛  
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3  
みどり岡山ホームページ:  
http://midori-okayama.org

【事務所】  
〒700-0971  
岡山市北区野田5-8-11  
Tel: 086-244-7721  
Fax: 086-244-7724  
e-mail: info@midori-okayama.org  
http://midori-okayama.org/  
【自宅】  
〒709-3122  
岡山市北区建部町吉田321  
携帯: 070-5056-3808  
e-mail: ai@midori-okayama.org

# おおつか あい 大塚愛

【第3号】  
県政レポート(2017年8月発行)  
Ohtsuka Ai "IPPO ♥ TSUSHIN" [no.003] 2017.8

# いっぽ通信

P.02-03 6月議会で代表質問をしました

P.01 しっかり話し合える&わかりやすい議会を

P.03 おもな活動記録から(2017年5月~7月)

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき(2017年4月~7月)



〜んには。県議会議員となって9か月になりました大塚愛です。

3回目の議会となった6月議会では、会派(民主・県民クラブ)の代表質問を行いました。代表質問は県政全般をとらえるという難しさもありましたが、同じ会派の議員さん達にも助けられ、12項目にわたる質問を行うことができました。

一般質問は基本的に自分

1人で組み立てていくのですが、今回は他の議員さんの意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりして話し合うことが多かったため、私はとても勉強になりました。そのプロセスに楽しさを感じました。

ところで、「岡山県議会基本条例」というのをご存知ですか? これは5年ほど前に作られた条例で、議会の役割や議員の責務、議会と県民の

関係などが書かれています。私は議員になってから初めてこれを読んだときに、「思い描いていた議員の姿がここに書いてある!」と思い、議員1年生の教科書を見つけた気分になりました。

たとえば、第二条では「議会は、多様な県民の意思の調整を図り県政に反映させるため、公平かつ公正な議論を尽くすとともに、自らの機能を最大限発揮することにより、真の地方自治を目指すものとする」(一部抜粋)とあります。

でも実際には、「公正な議論が尽くされている」場面は少ないと感じますし、その他の条項でもギャップを感じます。この条例の通り、



県政おしゃべりカフェで「一歩」を歌いました

議員同士がしっかり話し合え、また県民にもわかりやすい県議会になればと願いつつ、自分なりに模索していきたいと思っています。



傍聴に来て下さった皆さん、ありがとう



持ち時間は30分。ペースも気にしながら、しっかり伝えます

## 日々のうごき

2017年4月~7月

- 4.22 住民自治とまちづくり条例のお話
- 4.23 JDS(日本ダウン症協会)岡山支部総会
- 4.27 次女と保育園遠足@たけの森
- 4.28 常任委員会(土木、宿泊型自立訓練事業説明会)
- 4.29 建部町れんげ祭り、「子どもを主体とした地域づくり」分科会
- 5.1 森林環境税セミナー
- 5.2 いっぽ通信2号作成
- 5.7 アースデイ@バラ園
- 5.8 電力関連の懇談会、さんかくウィーク作業
- 5.9 子どもの貧困についてのお話、福島原発おかもや訴訟
- 5.10 朝日高校一中十日会
- 5.11 子ども未来・愛ネットワーク総会、LGBTのお話
- 5.12 代表質問のための調査
- 5.15 県議会臨時会、代表質問項目整理
- 5.16 ともネット定例会、中国横断自動車道岡山県期成会総会
- 5.18 常任委員会、野球部初練習、備前県民局との懇談会
- 5.20 福祉オンズおかもや総会、南野育成園バザー、たんぼネットワーク意見交換会
- 5.21 消防操法訓練大会
- 5.23 特別委員会(地域振興・防災・環境対策)



- 5.24 家畜保健衛生所視察、県政おしゃべりカフェ

- 5.25 県政報告会@吉備公民館、代表質問読みあわせ
- 5.26 地域おこし協力隊のお話
- 5.27 DV防止サポートシステムをつなぐ会総会



- 5.28 小学校参観日&プール掃除
- 5.29 代表質問のための調査、みどり岡山会議
- 5.30 常任委員会、代表質問読みあわせ
- 5.31 賀茂川ホリデイフォレスト木工教室
- 6.1 フリースクール(ハニードロップス)のお話
- 6.2 学童保育&建部町の空き家の相談
- 6.3 野球部試合、どうする! 原発のゴミ全国交流会
- 6.4 県教組研修会@鏡野中学校で講演
- 6.5 まな星クリニック視察
- 6.6 子ども未来・愛ネットワーク会議
- 6.8 6月議会開会
- 6.9 息子が修学旅行から帰る
- 6.10 プレーリーダー養成講座、ホテル祭り@西宇甘&福谷地区
- 6.13 6月議会代表質問、脱原発結集@藤涼寺、水素エネルギー社会セミナー
- 6.14 もみの木保育園&デイサービス視察
- 6.15 南海トラフ地震広域支援のお話、居住支援協議会
- 6.16 6月議会一般質問、テレビ収録打ち合わせ
- 6.17 吉備学会講演会、大野川ホテル祭り
- 6.18 娘たちと大野川で魚とり
- 6.20 6月議会一般質問、議員連盟の総会~22

- 6.24 小学校参観日、みどり岡山総会



- 6.25 放射能汚染防止法を制定しよう市民勉強会
- 6.26 特別委員会(岡山の防災と広域支援について質問)
- 6.27 常任委員会(空き家対策について質問)
- 6.29 岡山市戦没者追悼式、女性議員の懇談、市民協働事業報告会&円卓会議
- 6.30 6月議会開会、食育全国大会開会式、県政おしゃべりカフェ@古都夢、県政広報テレビ収録



- 7.1 NPOみんなの集落研究所報告会
- 7.2 新社会党総会
- 7.3 防災カフェ@吉備公民館
- 7.4 防災の講演@南支援助学校、空き家管理セミナー
- 7.5 南海地震支援のお話@AMDA、協働推進セミナー@備前県民局
- 7.6 住宅セーフティネット説明会@広島
- 7.7 保養支援について教育長とお話
- 7.8 旭川源流の碑@御津→建部
- 7.10 土木委員会県内調査
- 7.11 自然エネルギー地方議員研究会@東京
- 7.12 次女発熱でお休み
- 7.13 女性議員で性犯罪法改正の勉強会
- 7.14 常任委員会、北前船フォーラム
- 7.16 福島県に帰還した方のお話会

# 岡山県議会 平成29年6月定例会代表質問 (2017年6月13日登壇)

## Q. 移住定住

**移** 住希望の方が下見に訪れても、その地域に賃貸物件が見つからず、がっかりして帰るケースも生じています。移住者を受け入れる賃貸物件を増やすため



移住希望者を案内する先輩移住者職員@和気町

に、空き家の掘り起こしや利活用のさらなる促進が求められています。また、空き家の提供のためにも地域の人と移住者のコミュニケーションは重要で、その間の調整役となれる地域組織やNPOの支援が鍵となります。

また、移住希望者に届ける仕事の情報を拡充していくことも必要です。求人サイト「日本仕事百科」では、そこで働く人の思いや職場の雰囲気、地域の良さを丁寧に紹介しています。このような伝え方を参考にしたり、農山村にある生業の経営基盤を第三者が引き継ぐ「継業」のように、地域に潜在する仕事を掘り起こしていくことを考えてはいかがでしょうか？

**A.** 市町村の空き家調査の支援や空き家情報流通システムの運営により、空き家の掘り起こしに努めていく。また、地域組織の支援は大変重要と考えており、「継業」も移住者と地域の双方にメリットがあることから、地域と市町村が一体となった受け入れができるよう支援していきます。

## Q. 発達障がい

**発** 達障がいのある子どもの支援には、まわりにいる人の理解や心理的受容があることが大切で、一人ひとり違う個性ともいえるその発達特性を理解して、人間関係を築いていけることが望めます。子どもに発達障がいがあると告知されたとき、その保護者がそれを受け止めるにはしばしば困難を伴いますが、保護者の心理的ケアができる機会が少ないのが現状です。今年度行うかかりつけ医等への研修においても、保護者の心理的受容への配慮ができるよう、医療従事者の理解を促していただきたい。また、保護者の交流会は悩みの解消やエンパワメントにつながるため、周知や開催支援を進めていただきたい。また、近年増えつつある障害児通所施設については、そ

## Q. 保育ファシリテーター

**日** 本保育協会の調べでは、保育士の離職理由で最も多いのが「職場での人間関係」、次いで「給与」となっています。「会議で全く意見が出ない」「若手がすぐやめてしまう」という保育現場の課題を解決するために、ある専門学校では文科省の委託を受けて「保育ファシリテーター」養成講座を開発しました。受講した保育士の活躍で現場環境が改善した事例や、保護者と

で行われる発達支援の質を担保する仕組みも必要になっていますが、いかがでしょうか？

**A.** 保護者の心理に配慮した家族支援の在り方についても研修に盛り込んでおり、適切に支援ができる医療従事者の養成に努めていきたい。交流会は親同士が支えあう大変有意義な取組であるため、ペアレントメンターの派遣やコーディネーターの配置促進などで市町村の取組を支援していきたい。



代表質問は、自民党→民主・県民→公明党の順番です

のトラブルが軽減した事例も出ています。保育士の離職を防ぐには、非正規職員をはじめとする処遇の改善が不可欠ですが、あわせて職場環境の改善のために効果があると思われるファシリテーション技術を、研修に取り入れはかがいでしょうか？

**A.** 今後県が行う研修では、リーダーとしての資質を高めるマネジメント分野も盛り込む必要があるため、ファシリテーション技術の研修についても研究していきたい。(後日、資料の提供協力をしました)

## Q. LGBT

**L** LGBTと呼ばれる性的マイノリティは、13人に1人の割合でいることがわかっています。LGBTの子どもは、物心ついた頃に生まれつきの体とは違う心の性を持っていることに気づいたり、思春期に同性に恋愛感情をもつことに気づいたりしますが、

これまでの社会通念が生む偏見などにより、そのままの自分を認めることが難しく、孤立を感じたり、中には自傷行為を経験する子どもも少なくありません。昨年、プライド岡山が行った調査では、LGBTの子ども達の64%が「もう生きてたくない」と思ったことがあると答えています

## おもな「活動記録」から (2017年5月～7月)

「防災はじめての一步」講座 @岡山南支援学校/2017年7月4日

「南 海地震などが起きた時、障がいのある子どもどう動いたらいいかを考えたい」という保護者の声から講座が企画され、東日本大震



## 民主・県民クラブの代表質問項目

\*()は担当した議員

- ◆公共交通の在り方について(高原議員)
- ◆移住・定住について(大塚)
- ◆発達障害のある子どもの支援について(大塚)
- ◆保育士の研修について(大塚)
- ◆「働き方」改革について(高橋議員)
- ◆高齢者講習について(柳田議員)
- ◆サイバー犯罪対策について(柳田議員)
- ◆獣医師の確保について(大塚)



- ◆宇野港・田井地区の利活用方策について(住吉議員)
- ◆教職員の長時間労働について(花房議員)
- ◆医療的ケアの必要な児童・生徒について(大塚)
- ◆LGBTへの理解促進等について(大塚)

が、中には教師の理解ある対応で救われた子どももいます。偏見などにより傷ついている子が救われるよう、図書館などにLGBT関連の書籍を置いたり、教職員の理解促進のための研修、相談窓口の周知など進めてはどうですか？

**A.** 第3次岡山県人権教育推進プランに基づき、性的少数者について理解し、多様な性を認める教育や性的少数者が自分らしく生

きるための支援を進めることとされている。相談窓口の周知などについても検討していきたい。

先生に知ってもらいたい多様性

学校現場のためのパンフレット@プライド岡山作成×岡山市協働事業



子どもを育てる母親の視点から伝えたい防災ただけたようでした。障がいのある方や高齢者などは、災害避難時に配慮や支援がより必要な方です。日頃からの防災に、障がいなどへの理解や配慮も考えていけたらと思います。